

2026年7月22日

「鹿沼＋足利銀行 地方創生の推進に関する協働・共創パートナー協定」の締結について

足利銀行（頭取 清水 和幸）は、鹿沼市（市長 松井 正一）と「鹿沼＋足利銀行 地方創生の推進に関する協働・共創パートナー協定」を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

地域の総合金融サービスグループとしての強みを活かし、グループ会社のノウハウ、知見も最大限に活用しながら、鹿沼市との連携事項の実現を図ってまいります。

当行は、今後も地方公共団体との連携・協力による地方創生への取り組みを通じて、地域社会の持続的な成長と地域経済の一層の活性化に貢献してまいります。

記

1. 連携協定について

（1）概要

- ・ 鹿沼市では、2026年度から2035年度までの10か年の「第9次鹿沼市総合計画」（以下、「総合計画」）がスタートしました。
- ・ 総合計画で掲げる、鹿沼市が今後注力する重要施策や課題について、鹿沼市と足利銀行が共同で取り組みます。行政と金融機関双方の強みやネットワークを活かし、政策実現に向けた各種連携を図ります。

（2）連携事項

- ア. 安定した行財政運営に関すること
- イ. 市内企業の発展に関すること
- ウ. シティプロモーションの推進に関すること
- エ. 企業誘致に関すること
- オ. その他、必要と認める事項に関すること

2. 本協定のネーミングについて

- （1）「鹿沼＋（プラス）」は、鹿沼市の施策展開の戦略ワードであり、他団体等との連携により、新たな価値や効果を見出すことを意味しています。本協定では、この「鹿沼＋」に当行を重ね合わせ、地域企業の支援に係る新たな仕組みやシティプロモーション策等を共に生み出していくことを表現しています。
- （2）「協働・共創」は、鹿沼市のまちづくりに関する中核的なキーワードであり、当行と鹿沼市双方が役割とメリットを共有しながら「一緒に取り組む（協働）」だけでなく、新たな仕組みを「一緒につくる（共創）」ためのパートナーであることを示しています。

3. 締結日

2026年7月21日（火）

＜締結式の様子＞



(左から)

鹿沼市	市長	松井 正一
足利銀行	常務執行役員	渡邊 唯正

以 上